

「色々と考えさせられたこと」

株式会社ミロク

総務部次長 対馬 真氏



こんにちは。株式会社ミロクの対馬と申します。昨年の4月より前任者に代わりまして労務管理者協議会のメンバーとして仲間入りさせていただきました。実は労務管理者協議会へはメンバーでもないのに以前よりメンバー代理として例会をはじめ、時には飲み会にも参加させていただいておりましたので、「対馬はもっと前から労務管理者協議会のメンバーじゃなかったの？」と思われるメンバーの方もいらっしゃると思います。これからは、正式なメンバーとして労務管理者協議会を盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

今年日本中世界中新型コロナウィルス一色ですね。この原稿を書いている2020年4月はまだ全国に緊急事態宣言が発せられております。朝新聞を見れば「緊急事態宣言延長か」といった見出しが目に入り、テレビをつければ「パチンコ店に自粛を強く要請」といった感染拡大を何とか防止したい都道府県庁職員とどうしてもパチンコ店を営業したいパチンコ店主とのせめぎ合いを延々と放送しており、子供たちは休校なので家で動画を見たりゲームをしたり時には勉強したりとこれまでにない日常が繰り返されています。また、3月から4月は歓送迎会の時期にもかかわらず、夜の繁華街に行くことは自粛なので、私は3月4月に1回も飲み会に行っておりません。

世界中がこれまで経験をしたことのない感染症による恐怖の日々を過ごしていますが、改めて私自身色々と考えさせられました。

まずは危機管理の面であらゆることを想定していくことの大切さです。会社には危機管理委員会がありますが、主に検討していたことは大地震津波対策や台風被害の対策です。そのような中、今度は新型コロナウイルスといった死者も多く出る感染症にどう対応していくかの対応に迫られました。当然準備はできていませんでした。新型インフルエンザ流行時に購入していたマスクがある程度あったので、しばらくはマスクには困りませんでした

が、潤沢にあった訳ではありません。もう在庫が切れそうです。追加で注文しましたがすぐには買えない上に買っても高額です。マスク1箱以前は数百円で買えたのに今は数千円も払ってやっと買いました。全く想定外です。また、感染者が出た場合の会社操業のことや感染者の休業補償をどうするか、感染防止対策はどうかかなど次々検討事項が出て来て対応に迫られる毎日です。なかなか難しいことだとは思いますが、想定しておけばもっとしっかりとした準備ができていたのにと考える日々です。

次に感じたのは、人は亡くなる時はあつけないので日々大切に生きていくことが大事ということです。この新型コロナウイルスは致死率が高いと言われていましたが、流行当初はインフルエンザ程度にしか思っていませんでした。ですから中には亡くなる方もいらっしゃるでしょうが、そんなに大袈裟に言う必要があるのかと内心思っていました。しかし、世界中では本当に多くの方が亡くなっていますし、あの志村けんさんも亡くなりました。これまで元気そうだった方があつという間に亡くなるのです。本当に恐ろしいものです。私は会社側の立場で今年も例年通り春闘交渉を行っていましたが、交渉しながら「亡くなってしまうと給料も賞与ももらうこともできないのだな」と今まで思ったことのないようなことを思うようになりました。本当に感染して亡くなるかもしれないのです。亡くなっても後悔しないように、毎日今できることは今やるようにして過ごしています。

なんだか全体的にまとまりのない文章となってしまいましたが、今思っていることをそのまま書かせていただきました。とにかく早くこの新型コロナウイルスも終息してもらいたいと願っています。

最後になりましたが、これからも労務管理者協議会の皆様と共に学び、知恵を拝借しながら貴重な経験ができればと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。